

# M I O S U J I みおすじ

第20号

発行 愛知県立三谷水産高等学校同窓会  
〒443-0021 愛知県蒲郡市三谷町水神町通2-1  
TEL.0533-69-2265 FAX.0533-67-7699

## 『懐の深い教育で100周年に向けて』 —新たなチャレンジ—

同窓会長(昭和42年漁業科卒)  
鎌田 篤司



**同**窓会長としての挨拶をさせていただきます。

まず今号では、同窓会員諸兄のお許しを願って、本年3月11日に発災した、「東日本大震災」で被害にあわれた方々に対して、本科生8041名、専攻科生906名の全同窓会員と一緒に、「心より、お見舞いを申し上げます。私共の母校・三谷水高のある地域も「東海・東南海・南海の3連動地震」を言われて久しい土地柄です。防災については喫緊の課題ですので、私も行政の一端を担うものとして、充分心して取り組みたいと思っております。

同窓会長として、三谷水高同窓会機関誌「みおすじ」に挨拶文を書かせて貰うのも、今回で7回目になります。今回、この紙上で報告させて貰う第一番は、やはり、昨年11月13日(土)本校体育館で開催された、「愛知県立三谷水産高等学校創立70周年記念式典」についてであります。この式典につきましましては、同窓会員の皆様様に、文字通り物心両面に亘りまして、頂いたご

好意に対して、「心よりお礼を申し上げます」。

今回の70周年記念式典は、学校側の方針で本校生徒による運営で行われました。実は私も前日のリハーサルに立会ったのですが、その時には、「大丈夫かな?」と思われる場面が何度かありました。

しかし、当日の式典の素晴らしさは、他校から出席をされた先生方からも、「立派な式に参加をさせていただきました。」とか、「私共の学校の参考にさせていただきます。」等々、私のような者までにも、わざわざ足をはこんで言いに来てくれる程でした。式典関係者として出席していた私も大変誇らしく思うと共に、母校の後輩達を、本当に頼もしく感じました。

20号と言う記念すべき「みおすじ」紙上で、このような報告の出来ることは、同窓会長として、無上の喜びであります。

本年3月で転任をされた大竹校長が、一昨年の「みおすじ」の校長の挨拶文のなかで、「学校評議員会での、鎌田同窓会長さんの発言で、『生徒の様子がよくなっていくのは大変よいことだが、自分自身は、蛇腹の制服にあこがれて入学した。同級生にも色々な生徒がいたが、三谷水校の懐の深い教育があり、懐の深い学校であった事を感謝している。是非これからも、そ



▲三谷水産高等学校 創立70周年記念式典